

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 043	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 実物ポット植木の生産管理技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、柑橘の鉢物がインドアグリーンとして年末から早春の室内を飾ることが多くなっている。カラタチ台の接ぎ木苗を3年間畑で育成し、10号程度の鉢に掘り上げ、着果させて出荷している。温州みかん、檸檬や夏みかん等多岐にわたって試行錯誤で生産しているが、県育成の‘湘南ゴールド’についてもポット植木としての生産・流通により、県民等にもっと身近なものとなると考えられる。 そこで、ろうそく仕立てに近い低樹高で、着果状態の観賞性が高い、樹形管理技術の開発が望まれる。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	柑橘の鉢物の栽培技術開発につきましては、足柄地区事務所の柑橘研究担当と連携し情報提供を行います。具体的な作目および技術課題については現地の状況に合わせて、既往の成果や知見をご紹介しますので、その際はご協力をお願いいたします。 ただし‘湘南ゴールド’の苗木の増殖につきましては、神奈川県の実施許諾が必要です。		
	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内 ④5～10年以内
備考			